

# 平成29年度一般財団法人富山県バスケットボール協会 第3回理事会 議事録

- 1 開催日時 平成29年9月14日(木) 午後7時13分から午後8時51分まで
- 2 開催場所 富山県総合体育センター会議室
- 3 理事総数 24名
- 4 出席者 (1) 出席理事16名 荻原隆夫、深松篤夫、山崎 均、松倉弘英、丹羽昭雅、  
廣川知巳、構富士雄、重原 裕、清水久資、濱住知明、  
酒匂博臣、松井昭博、大谷孝行、小坂龍人、柳瀬雅之、  
松元健悟  
(2) 欠席理事8名 野上浩太郎、牧田和樹、杉本賢二、柴田 宏、松倉恒輔、  
白江成吉、堀内隆志、黒田 祐  
(3) 出席監事 岩崎 修  
(4) 出席事務局 山木葉子
- 5 議 事  
第1号議案 一般財団法人富山県バスケットボール協会事務局の重要な職員の任命について  
報告事項 (1) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について  
(2) 富山県社会人バスケットボール連盟設立準備委員会の状況について  
(3) 全日本バスケットボール選手権大会2次ラウンド準備委員会の状況について  
(4) (一財)富山県バスケットボール協会アンダーカテゴリー部会の準備について  
(5) 各委員会及び各種連盟からの連絡・報告について  
その他 ◇平成30年度事業及び予算書の提出について
- 6 会議内容  
(1) 会長代行挨拶(荻原会長代行)  
前回の理事会以降、各種全国・ブロック大会等が行われた。しかし、県勢の活躍が振るわず、更なる強化が必要である。7月26日には東京で野上会長等と懇談を行い、今後の方向性について協議した。今週末からは天皇杯等の2次ラウンドが開催されることから、協力をお願いしたい。  
このほか、Bリーグのアーリーカップにおいて富山グラウジーズが優勝し、今シーズンの活躍を期待したい。  
本日は、組織運営の拡充のほか、報告事項について協議願いたいと挨拶があった。  
(2) 理事会成立  
構常務理事が理事の出席状況として、理事総数24名中、出席理事14名(終了時16名)であり、定足数を満たしているとの報告があった。  
(3) 議事の経過の要領及びその結果  
議長は定款第35条の規定により、荻原会長代行が選出され、議事進行を務めた。  
◆第1号議案 一般財団法人富山県バスケットボール協会事務局の重要な職員の任命について  
議長から説明が求められ、松倉専務理事が事務局運営の充実を図るため、事務局員を追加し、当面はD-fund担当を予定しているとの原案を説明した。特に質疑もなく、賛否を諮ったところ出席理事の全員一致で可決した。  
(4) 報告事項  
◆会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について  
松倉専務理事から定款第27条第6項の規定により、会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について報告があった。  
◆富山県社会人バスケットボール連盟設立準備委員会の状況について  
松倉専務理事から、これまで4回の委員会を開催し準備を進めてきた。組織体制について

は、会長を置く必要があるのではないか。また、リーグ戦体系の方向性について報告があった。

会長は副会長の中から選任してはどうかとの意見や、準備委員会として会長を置くことへの必要性など、委員会としての考え方を示すよう意見があった。

◆全日本バスケットボール選手権大会2次ラウンド準備委員会の状況について

松倉専務理事から、JBAの補助金が委託金に振り返られたことから、返金の必要がなくなった。また、日当の金額を見直したなどの報告があった。

大会の運営や駐車場の整理など、不安視する意見があったほか、今後、出役等にかかる旅費は、自宅等からの距離を勘案して支給するよう意見があった。

このほか、JBA主催大会であっても、開催地に明確な情報伝達を求める意見があった。

◆(一財)富山県バスケットボール協会アンダーカテゴリー部会の準備について

松倉専務理事から、JBAにおける説明会への出席要請に基づき、今後、統括いただく廣川常務理事に出席願った。9月中旬に部会を設置するよう要請されているとの報告があった。

また、廣川常務理事から、9月21日に各カテゴリー担当向けに会議を予定しているとの報告があった。

今後、ミニバスケットボール連盟が解散予定であることから、大会等はどのようになるのかとの質問があった。これまでとの運営体制は変わることなく、協会直下のアンダーカテゴリーで運営することとなるとの回答があった。

◆各委員会及び各種連盟からの連絡・報告について

・重原理事(広報)から、ホームページの古い情報を削除したので、確認願いたいとの報告があった。

・酒匂理事(強化)から、10月1日からの国民体育大会に出場する成年女子は、青森県と対戦となる。資料のとおり、アンダーカテゴリーの活動を進めていくとの報告があった。

このほか、北信越国民体育大会を総括として、全体的に選手層の薄さが否めないとの報告のほか、少年女子に関しては、近年、インターハイ予選の優勝チームの監督がスタッフをしていいが、「そのほかの指導者が望ましい」と強化委員会において意見があった。

・松井理事(医科学)から、高校生の足首故障の調査を実施したので、取りまとめを行った後、報告するとともに、今後の予防に生かしたいとの報告があった。

・松倉専務理事(一般)から、総合選手権の予選において棄権チームがあり、出場停止の処分を予定しているとの報告を受けている。

厳し過ぎる処分であるほか、規律委員会の裁定が必要ではないかとの意見があり、精査することとなる。

・大谷理事(大学)から、10月26日から新潟市において北信越大学選手権が行われ、県内から3チームが出場するとの報告があった。

・小坂理事(高校)から、環日本海インターハイのお礼と、27日ウインターカップ予選の抽選会があるとの報告があった。

・柳瀬理事(ミニバス)から、9月4日に伝達講習会を開催したとの報告があった。

(5) その他

◆平成30年度事業及び予算書の提出について

松倉専務理事から、新年度における事業にD-fundを積極的に活用するよう各連盟等での検討依頼があった。受益者負担の原則のもと、そのほかの経費に充てることの注意があった。

◆その他

・松井理事から、今日の改革はサッカー協会に準じるものであり、県サッカー協会から過去の対応や課題を学習すべきとの意見があった。

・松倉専務理事から、来シーズンのBリーグ・オールスター戦を誘致するとの報告があった。

・丹羽常務理事から、新年度に本県で開催されるゴールデンシニア大会について、今年度の秋田県開催を視察してきた報告があった。

本理事会の議案等全ての審議が終了したので、午後8時51分に構常務理事が閉会を宣言し解散した。